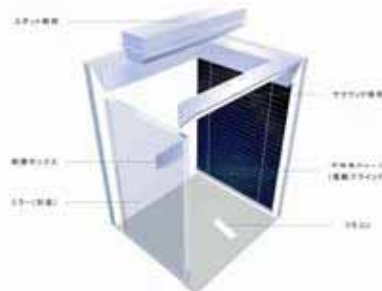


高齢者にやさしい照明のしくみ

カラーリカバリーシステム



- 眼が老化してきても、「ほんとうの色に見える」ハイテク試着室 -

◆色の見え方は、年を重ねると変わってきます

高齢になるにつれ、視覚は衰え、色も濁って見えるようになります。そのため、室内環境で自分で思っている以上に明るい色の服を選んで、晴天時に外で見てビックリするということが起きたりします。その眼の老化による見え方の変化に注目して、色をより正確に鮮明に知覚できる(=高彩度の色の見え方を実現する)照明システムを開発しました。

(吉忠マネキン・クロイ電機との連携)

従来の高齢者対応の照明は、水晶体が黄色化してしまうことでおきる眼球中の光の透過率低下を緩和するために「照度をあげる(=光を強くする)」という方法でした。しかし、これでは色の見え方に不具合を生じていました。これに対し、この開発システムは、水晶体の白濁による彩度低下に着目、「彩度の補正」を導入することにより、高齢者に、より、若い眼と同様に色を感じられる視環境を提供しています。

対象物の色が見えやすいように、照明条件に連動して、反射率が異なる背景に変えられます。
対象物への「スポット照明」と、周辺環境への「サウンド照明」で、より鮮明に見えやすくなります。
照明強度と配光を調節し、眼内散乱による色の見え方の低彩度化を防ぐことができます。

◆社会への貢献 「2005年度グッドデザイン賞」受賞

バリアフリーを実現するユニバーサルデザインが普及してきています。このシステムは、高齢者の視覚におけるユニバーサルデザインを提供し、高齢者の生活をより快適にします。

若者の色彩の見え方



高齢者の色彩の見え方



カラーリカバリーシステム照明を使用した場合の、高齢者の色彩の見え方

